

死体取扱数等の推移

		平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
死体取扱総数		161,407	165,837	170,174	167,808	169,496	173,220	196,103	198,664	204,184	204,562
犯罪死体		598	621	540	524	485	397	353	354	358	361
変死体		20,144	20,383	19,208	17,654	17,241	17,295	18,772	19,415	19,130	18,801
その他の死体		140,665	144,833	150,426	149,630	151,770	155,528	176,978	178,895	184,696	185,400
検視官臨場 死体取扱数	臨場数	126,146	130,795	136,183	136,396	137,713	139,792	150,254	157,826	168,313	169,073
	臨場率(%)	78.2	78.9	80.0	81.3	81.2	80.7	76.6	79.4	82.4	82.7
司法解剖数		8,326	8,157	8,253	8,243	8,115	8,427	9,016	10,099	9,911	9,859
調査法解剖数		2,605	2,844	3,105	3,167	2,983	3,203	3,273	3,116	3,506	3,886

※ 警察庁刑事局捜査第一課に報告のあったもの。

※ 交通関係の死者を除く。

※ 「調査法解剖」とは、警察等が取り扱う死体の死因又は身元の調査等に関する法律第6条に基づく解剖。

<参考>

その他の解剖数	9,487	9,582	8,986	7,913	7,241	6,393	6,435	6,878	6,629	6,530
---------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

※ 警察が取り扱った死体について行われた解剖のうち、司法解剖及び調査法解剖(平成25年以降)以外の解剖数。

解剖率(%)	12.7	12.4	12.0	11.5	10.8	10.4	9.5	10.1	9.8	9.9
--------	------	------	------	------	------	------	-----	------	-----	-----

※ 死体取扱総数のうち、司法解剖、調査法解剖(平成25年以降)及びその他の解剖が行われたものの占める割合。

検視官数(人)	341	357	360	364	370	378	382	384	398	403
検視官補助者数(人)	553	550	547	540	540	541	527	528	531	533

※ 検視官数及び検視官補助者数は、それぞれの年の4月の人数。